

八上校区まちづくり協議会活動報告

第一回 八上ふるさと塾

ふるさと塾長 池田 正男

八上校区は、篠山城築城に先立つ戦国時代の山城、国史跡・八上城跡の麓に広がる田園地域です。ここには、八上城跡を中心に法光寺城跡、奥谷城跡、伝・主膳屋敷跡、堀割、土塁、屈曲した街道、江戸時代の一里塚、市指定文化財重兵衛茶屋、旧山陰道の街道集落が残っています。

しかし、数年前に行われた『八上地域のワークシヨップ』の参加者から、「嫁いで十年になるが八上のことはよく知らない」という発言がありました。そこで、ふるさととの歴史を学ぶ『八上ふるさと塾』を立ち上げました。

第一回目は、九月十八日(日)午後一時三〇分から、高城会館において、約五十名の参加を得て、開催しました。講師は、八上校区まちづくり協議会会長、池田正男が『篠山で活躍した郷土史家たち』と題して発表しました。

その趣旨は、明治二十九年五月雲部車塚古墳の発掘に始まる篠山の歴史研究の流れを、郷土史家・福原会下山人、奥田栄々斎、中山正二他の業績、そして多紀文化顕彰会等が果たした研究成果をたどりました。

次回は、一月二十九日(日)、明治初年に描かれた八上上・内・下地区の村絵図を見ながら、当該自治会からの講師による地元に残る屋号等について、お話をいただく予定です。

多くの方の参加をお願いします。



八上ふるさと塾 (高城会館)



親睦運動会 (八上小学校)

第二十八回八上校区親睦運動会

体育部副部長 柴田 重久

猛暑の日が毎日のように続いた今年の夏は過ぎ、高城山の麓、ここ八上の大地にも十月に入り、涼風が気持ちよく吹き抜け始めました。農家の方が丹精を尽くして育てられた農作物が、今年も豊かに実る収穫の秋を迎えた十月二日、校区の皆さんが八上小学校グラウンドに多数朝から集い、八上校区親睦運動会が盛大に開かれました。

各班別の役員さんがテントを組み上げ、準備も整い、全員参加のラジオ体操で始まり、季節外れの肌寒さを吹き飛ばし、元気に競技が始まりました。

各種目に熱戦が展開されて、紙一重の結果に応援する人々も、手に汗を握り、我を忘れ競技者と一体となりました。秋空の下、四方八方からグラウンド全体に大きな拍手と声援に包まれ、明るい笑顔と共に親睦一色になりました。

出来た絆の輪は広がりをみせて、強く結ばれ八上はひとつになり人々の心はつながり、秋の親睦の時間は楽しい思い出を残して、無事に終了しました。

第28回八上校区親睦運動会成績表

Table with 10 columns: 総合成績, 班, 得点, 種目別順位 (青空ボール, むかで競争, 一般玉入れ, キネス縄跳び, 綱引き, 作りの子, 作りの子), and 順位. It lists results for 7 classes across various sports.

八上校区保健福祉 ワークシヨップ開催

福祉部副部長 増岡 裕介

篠山市は、保健福祉分野における理念および施策の方向性を示す「保健福祉総合計画」の策定を進めています。八上校区においても、地域の保健福祉の現状や課題・目標・取り



保健福祉ワークシヨップ (高城会館)

昭和の写真集

なつかしの「昔八上」を訪ねて・・・第二信

糯ヶ坪自治会長 大森 作之

八上には、昭和47年まで国鉄「篠山線」の鉄道が通り、篠山口駅と福住を結んでいました。池上と境の北村に「篠山駅」があり、糯ヶ坪交差点から八上小学校の北側を経て、今のJA城東八上支店の南側には「八上駅」がありました。

この鉄道は戦時下にあつて、基幹産業である製鉄の高炉材料と鋼(はがね)生産に必要な品質日本一の多紀郡から産出する珪石とマンガン鉱石を、九州八幡地区へ運送する能力の増強が国策となり、昭和17年に建設が開始されました。

当時、鉄道路線土地の優先供与と建設の為に郡内各村毎に勤労報国隊が組織され、僅か2年余りの驚異的短期間で昭和19年3月に開業をしました。しかしながら戦争が終結し戦後復興の一時期の役目を終え、昭和47年に赤字路線の筆頭として廃線の憂目を見ました。

今は全く面影がありませんが、過ぎし日々を顧みれば、子供の頃、駅構内に山盛り積まれた珪石から水晶や黄銅鉱を見つけて喜んだことを思い出します。苦難の歴史を刻んだ篠山線ですが、全ては懐かしく思い出に残る事実です。



当時の篠山駅構内 (昭和43年9月)



糯ヶ坪交差点の高架橋を通過する『お別れ列車』

第二十六回 八上校区文化祭

コミュニケーション部部長 梶村 文敏

組みなどについて一人一人がアイデアを出し合つてまとめていく共同作業の場(ワークシヨップ)を、9月10月にかけて4回実施しました。市職員はじめ、まちづくり協議会関係者、福祉委員、民生児童委員、愛育班、小学校PTA、NPO法人、保健師などの方々が参加されました。出された様々な意見は、今後のまちづくりを進めていく上での貴重な提案になると思われ、まち協として参考にさせていただきたいと思えます。

十一月十九日(土)・二十日(日)に開催しました、第二十六回八上校区文化祭では、多くの校区の皆さんにご見学・ご協力いただき本当にありがとうございました。本年度は、より多くの校区の皆さんにご参観いただきたく、日程を十月から十一月に変更しました。

芸能発表(八上小学校講堂)では、八上校区内で活動されている方々をご紹介したいと考え、高城会館内各サークルの発表に加え、特別参加いただいた高城剣道教室の稽古風景、ピアノ教室での練習成果の発表。校区外ではありますが、西紀で活躍されている「丹波篠山真南風・なんくるないさ」さんによる沖繩の伝統芸能(エイサー・太鼓)をご披露いただきました。普段見られないそれぞれの発表内容には驚くばかりでした。

作品展示(高城会館)でも、各サークルの展示に加え、特別参加で絵画・押し花・菊花を展示させていただきました。とても興味深く豪華な雰囲気になりました。



お茶席 (さわやかサロ)

一方、高城会館に隣接する「さわやかサロン」では、八上小学校お茶クラブと各サークルの協力により、お茶席を設け、ゆつくりとお抹茶と栗饅頭を楽しんでいただきました。

来年度の文化祭は、今まで以上にこれまでの伝統を礎に八上校区の文化の発展に貢献できるように努力していきたいと考えています。ご協力をお願い申し上げます。

サークル紹介

高城短歌会

短歌の調べは、私達日本人の言葉やこころに最もふさわしいリズムを持っています。短い詩ですが、暮らしの中の様々なことを表現することができるのです。高城短歌会は素晴らしい仲間が揃い、楽しい笑顔の絶えない会です。作品は、丹波新聞、毎日新聞に掲載されています。現在、会員は14名です。



毎月第3金曜日 午後13:00~ 高城会館小会議室 代表: 小野富美子 是非、お気軽にお立ち寄りください。

青パトによる防犯活動始まる

12月19日(月)午後1時、高城会館前に於いて、青パトの発隊式を行い、活動を開始しました。『自分たちのまちは自分たちで守る』という意識に基づき、校区内を青パト(青色回転灯装備車両)が巡回して防犯活動に努めます。ご協力とご支援を願います。(生活環境部)

編集後記

●八上戦国ウォークでは八上城跡本丸で八上小学校六年生の児童・保護者とも小雨の降る寒い中、本当にご苦労様でした。 ●さて、この『やま高城』も第五号を発行しましたが、少しは皆様に認知していただけたかと思えます。 ●九月からホームページを開設しております。今後は、広報誌・ホームページで、八上校区の情報を市・まち協・小学校・PTA等と共に共有して、発信していきたいと考えています。 ●それだけに、掲載記事等や、その他ご意見・ご提案をお願いします。 ●メールアドレスは、 (yakami-machi@kougaia.eonet.ne.jp) ホームページ (URL) は、 (http://yakami-takashiro.jp)

八上校区まちづくり協議会 篠山市糯ヶ坪甲八十三番地一 千六六九・二四三七